

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年10月20日

No.6

年末手当交渉スタート！！

基準内賃金×2.6ヶ月！

回答指定日 11月17日
支払指定日 12月9日

中央本部は、10月19日に2011年度年末手当の申し入れを行いました。申し入れにあたり中央本部は、①3月11日の東日本大震災の発生や、ギリシャを中心とした世界経済危機など、大変厳しい状況であることは労使が認識しており、JR貨物も少なからず影響を受けることは避けられない。②東日本大震災から7か月が経過し復興作業が進んでいる。貨物労組組合員は復旧・復興に向けて全力を挙げてきた。③また台風12号・15号による輸送確保に向けて全職場は大変苦労した。したがって、この間の組合員の労苦に応えるものとした要求を行うので、誠意ある回答を示すことを主張しました。

これに対して会社は、①回答指定日まで真摯な議論を行いたい。②しかし、今年度の上半期収入は対前年度より△51億円（震災や台風等の災害含む）③10月期通達と比べても△6億円。このまま推移した場合、中間決算は相当な赤字が確実な状況である。④3年連続の赤字は避けることが出来たが、上半期の赤字は、銀行から見れば「格付け降下」の対象となる。⑤年末手当は営業成績の配分であって、厳しい対応をせざるを得ないのが現状である。⑥下半期は収入拡大に全力を挙げて取り組む。と現状と申し入れに対する考え方を明らかにしました。



組合員の皆さん！会社は厳しい収入状況を理由に、早くも低額回答の姿勢を見せています。私達はこれまで大震災による石油迂回輸送や支援物資輸送を職場から担い、度重なる輸送障害に対しても、昼夜を問わず職場で奮闘してきました。手当満額獲得のために組織の総力を挙げて一丸となって全職場から奮闘していこうではありませんか。中央本部は組合員の想いに立ちその最先端で奮闘していく事を明らかにして第1回交渉報告とします。

以上

次回、第2回交渉は10月28日（金）です。